

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が38例(男性25例(20歳代4例, 30歳代6例, 40歳代5例, 50歳代4例, 60歳代2例, 70歳代3例, 80歳代1例), 女性11例(20歳代3例, 30歳代3例, 40歳代1例, 50歳代3例, 60歳代1例), 性別及び年齢非公開2例)あり, 本年の累積報告数は3,151例になりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例(70歳代男性)ありました。本年の累積報告数は7例となりました。
- ・ **インフルエンザ**は, 市内69の定点医療機関からの報告はありませんでした。全国的にも報告数はほとんどありませんが, 感染予防には努めましょう。
京都市のインフルエンザの発生状況は下記のホームページをご参照ください。
○京都市のインフルエンザの発生状況(衛生環境研究所)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
- ・ **RSウイルス感染症**は, 京都市では報告がありませんでしたが, 全国の定点当たり報告数は, 本年第1週以降9週連続で増加しており, 今週は0.58で過去5年平均値を上回っています。現在, 九州地方で比較的多く報告されています。京都市では流行の兆候はありませんが, 感染予防に努めましょう。新型コロナウイルス感染症と同様, 手洗いやマスクの着用などが重要です。

◆ 今週のトピックス:<結核>

3月24日は世界結核デーです。今年のテーマは“*The clock is ticking*”で, 「時間だけが過ぎていく」といった意味です。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ **二類:結核** 2例(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 39例(肺結核 16例, その他結核 13例, 潜在性結核感染者 10例)うち喀痰塗抹陽性 7例】
- ・ **新型コロナウイルス感染症** 38例【1月以降の累積報告数 3,151例】
- ・ **五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症** 1例【1月以降の累積報告数 7例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎 ② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ③ 突発性発しん ④ 咽頭結膜熱 ⑤ 手足口病 ⑤ ヘルパンギーナ ⑤ 流行性耳下腺炎	2.84 0.63 0.26 0.05 0.02 0.02 0.02	122 27 11 2 1 1 1
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス:<結核>

付表(疾病, 行政区分別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

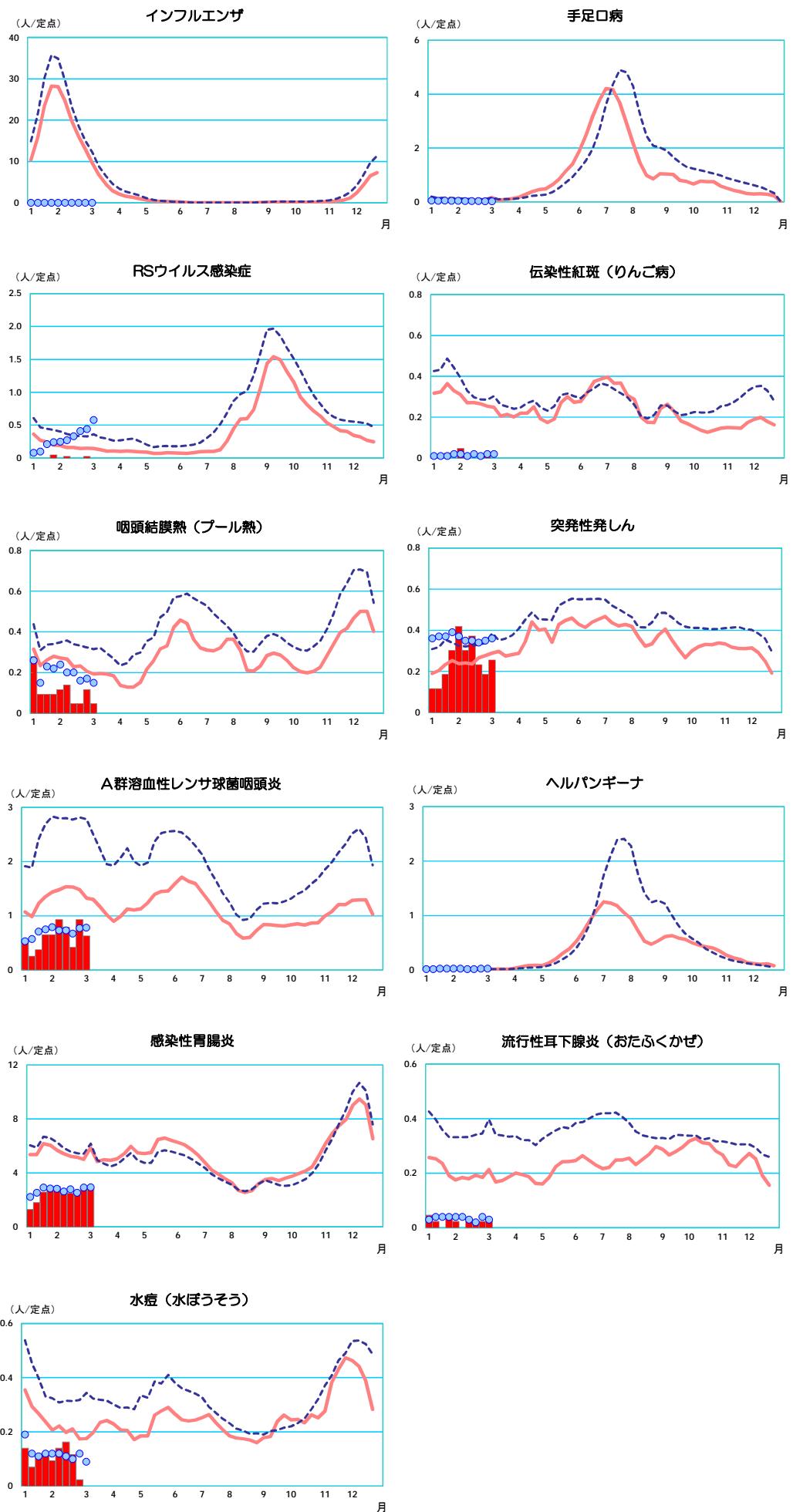
(注) 京都市のデータは, 2021年3月18日現在の報告数で, 全国との還元データと若干異なる場合があります。

また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

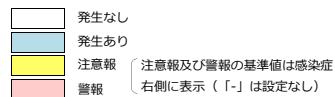
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）

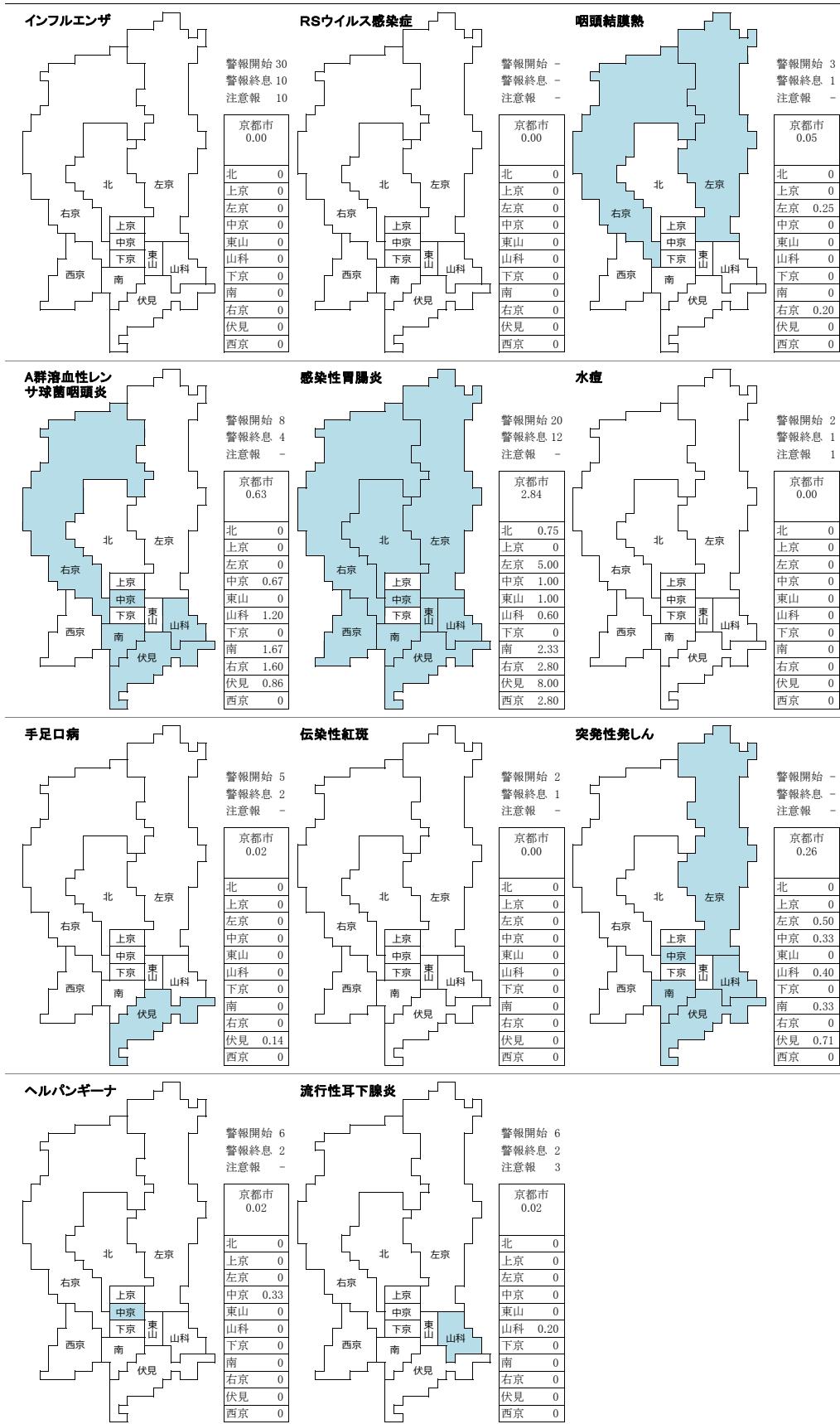
京都市_本年 京都市_過去5年平均値
全国_本年 全国_過去5年平均値



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第10週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがいまして、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第10週(3月8日～3月14日)トピックス：<結核>

3月24日は世界結核デー(注1)です。今年のテーマは”The Clock is ticking”で、「時間だけが過ぎていく」といった意味です。新型コロナウイルス感染症の影響で結核に取り組む時間が減少し、世界が結核の脅威にさらされている現状を表しています。世界結核デーにちなみ、世界及び本市の2019年までの結核の状況についてまとめました。

WHOによると、2019年に世界で新たに結核を発病した人が年間1,000万人、結核で亡くなった人が140万人と報告されています(注2)。主に発展途上国で結核罹患率(人口10万対)が高く、多くの先進国では低まん延国の中でも10を下回っています。日本は結核罹患率が11.5となっており、先進国の中では高い値を示しています(表1及び図1)。

本市の2019年の結核罹患率は15.1で、前年の15.5から0.4ポイント減少しました。しかしながら、依然として全国の11.5より高い状態です(図2)。罹患率を年齢階級別にみると、高齢者で高く、70歳代で24.6、80歳代で60.8、90歳以上では136.5となっています(図3)。

結核の主な感染経路は気道を介した飛沫核感染であることから、患者の早期発見・早期治療が重要です。このことは本人の重症化を予防するだけでなく、周囲への感染拡大を防ぐことになります。特に抵抗力の弱い乳幼児への感染は、大半が家族等の身近な患者からの感染とされています。咳が2週間以上続く、急に体重が減る、身体がだるい等の症状があれば、医療機関を速やかに受診しましょう。

京都市では、市内在住15歳以上の人を対象に、年間を通じて月に2回程度、区役所・支所で結核検診を無料で実施しています(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、実施状況については各区役所・支所やホームページで最新の情報を確認してください)。また、65歳以上の人には、年1回の結核検診の受診が感染症法により義務付けられています。早期発見のため、必ず検査を受けましょう。

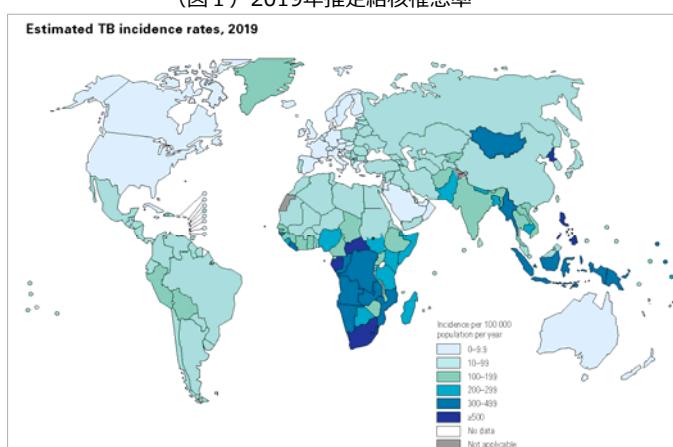
○京都市情報館ホームページ「結核検診について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000121872.html>

(注1)1882年に細菌学者ロベルト・コッホが結核菌を発表した日にちなみ、1997年の世界保健総会で制定されました。

(注2)WHO: Global Tuberculosis Report 2020 p.1 (<https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/336069/9789240013131-eng.pdf> 2021年3月12日閲覧)

(図1) 2019年推定結核罹患率^{*1}

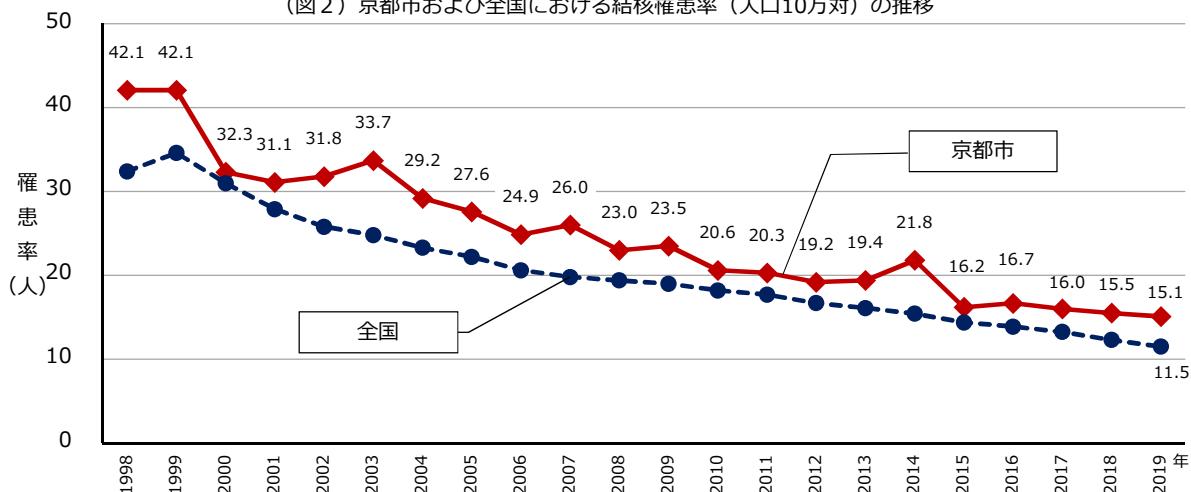


(表1) 諸外国と日本の結核罹患率^{*2}

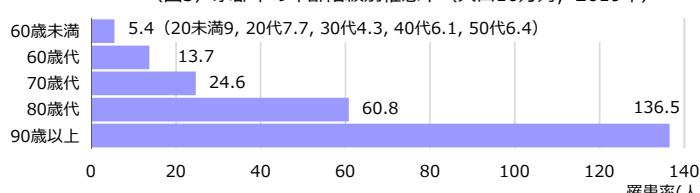
米国	3	日本	11.5
デンマーク	5	シンガポール	41
オランダ	5	ブラジル	46
カナダ	5.5	中国	58
スウェーデン	5.5	韓国	59
ドイツ	5.8	タイ	150
オーストラリア	6.9	ベトナム	176
イタリア	7.1	インドネシア	312
英国	8	ミャンマー	322
フランス	8.7	フィリピン	554

諸外国のデータはGlobal Tuberculosis Control WHO Report 2020より

(図2) 京都市および全国における結核罹患率(人口10万対)の推移



(図3) 京都市の年齢階級別罹患率(人口10万対、2019年)



(*1)WHOホームページ掲載の
Global Tuberculosis Report 2020
(<https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/336069/9789240013131-eng.pdf>)から引用
(*2)WHOホームページ
<https://www.who.int/teams/global-tuberculosis-programme/data>よりWHO TB burden estimates(CSVファイル)を入手し加工(2021年3月12日入手)

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第10週

疾病,行政区別報告数

2021年3月8日～2021年3月14日

データ入手日:2021年3月18日

	インフルエンザ (※ ¹)	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A炎群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性齶膜炎(※ ²)	無菌性齶膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※ ³)	感染性胃腸炎(※ ⁴)
男女合計																		
北	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
左京	-	-	1	-	20	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
中京	-	-	-	2	3	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
東山	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山科	-	-	-	6	3	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	-	-	-	5	7	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
右京	-	-	1	8	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伏見	-	-	-	6	56	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	
西京	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都市計	-	-	2	27	122	-	1	-	11	1	1	-	-	-	-	-	-	

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※ ¹)	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A炎群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性齶膜炎(※ ²)	無菌性齶膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※ ³)	感染性胃腸炎(※ ⁴)
男女合計																		
北	-	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
左京	-	-	0.25	-	5.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
中京	-	-	-	0.67	1.00	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	
東山	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山科	-	-	-	1.20	0.60	-	-	-	0.40	-	0.20	-	-	-	-	-	-	
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	-	-	-	1.67	2.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
右京	-	-	0.20	1.60	2.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伏見	-	-	-	0.86	8.00	-	0.14	-	0.71	-	-	-	-	-	-	-	-	
西京	-	-	-	-	2.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都市計	-	-	0.05	0.63	2.84	-	0.02	-	0.26	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性齶膜炎は齶膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第10週

年齢階級、疾病別報告数

2021年3月8日～2021年3月14日

データ入手日:2021年3月18日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 ～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～5ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳～ 5歳～	1歳 1歳 1歳 1歳～ 10歳～	2歳 2歳 2歳 10歳～	3歳 3歳 3歳 15歳～	4歳 4歳 4歳 20歳～	5歳 5歳 5歳 25歳～	6歳 6歳 6歳 30歳～	7歳 7歳 7歳 35歳～	8歳 8歳 8歳 40歳～	9歳 9歳 9歳 45歳～	10歳～ 10歳～ 10歳～ 50歳～	15歳～ 15歳～ 15歳～ 55歳～	20歳～ 20歳～ 20歳以上 60歳～	30歳～ 30歳～ 65歳～	40歳～ 40歳～ 70歳以上	50歳～ 50歳～	60歳～ 60歳～	70歳～ 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		27	-	1	5	-	2	5	4	-	3	1	1	2	-	3	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		122	1	4	18	15	17	11	11	9	3	5	3	12	1	12	-	-	-	-	-
水痘		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		11	-	3	3	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級、疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 ～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～5ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳～ 5歳～	1歳 1歳 1歳 1歳～ 10歳～	2歳 2歳 2歳 10歳～	3歳 3歳 3歳 15歳～	4歳 4歳 4歳 20歳～	5歳 5歳 5歳 25歳～	6歳 6歳 6歳 30歳～	7歳 7歳 7歳 35歳～	8歳 8歳 8歳 40歳～	9歳 9歳 9歳 45歳～	10歳～ 10歳～ 10歳～ 50歳～	15歳～ 15歳～ 15歳～ 55歳～	20歳～ 20歳～ 20歳以上 60歳～	30歳～ 30歳～ 65歳～	40歳～ 40歳～ 70歳以上	50歳～ 50歳～	60歳～ 60歳～	70歳～ 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.63	-	0.02	0.12	-	0.05	0.12	0.09	-	0.07	0.02	0.02	0.05	-	0.07	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.84	0.02	0.09	0.42	0.35	0.40	0.26	0.26	0.21	0.07	0.12	0.07	0.28	0.02	0.28	-	-	-	-	-
水痘		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.26	-	0.07	0.07	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第10週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年3月18日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		1	-	1	1	1	-
RSウイルス感染症		-	1	-	-	1	-
咽頭結膜熱		5	6	2	2	5	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	40	34	18	40	27	
感染性胃腸炎	129	116	107	113	126	122	
水痘	4	6	7	5	1	-	
手足口病	3	1	-	2	-	1	
伝染性紅斑	2	-	-	-	1	-	
突発性発しん	18	13	16	10	8	11	
ヘルパンギーナ	1	2	2	2	2	1	
流行性耳下腺炎	1	-	1	1	1	1	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	
細菌性齶膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-	
無菌性齶膜炎	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	
合 計	192	185	170	154	186	165	

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.01	-	0.01	0.01	0.01	-	
RSウイルス感染症	-	0.02	-	-	0.02	-	
咽頭結膜熱	0.12	0.14	0.05	0.05	0.12	0.05	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.65	0.93	0.79	0.42	0.93	0.63	
感染性胃腸炎	3.00	2.70	2.49	2.63	2.93	2.84	
水痘	0.09	0.14	0.16	0.12	0.02	-	
手足口病	0.07	0.02	-	0.05	-	0.02	
伝染性紅斑	0.05	-	-	-	0.02	-	
突発性発しん	0.42	0.30	0.37	0.23	0.19	0.26	
ヘルパンギーナ	0.02	0.05	0.05	0.05	0.05	0.02	
流行性耳下腺炎	0.02	-	0.02	0.02	0.02	0.02	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	
細菌性齶膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-	
無菌性齶膜炎	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	
合 計	4.46	4.30	3.94	3.57	4.32	3.84	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1について含む。

※2 細菌性齶膜炎は齶膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。